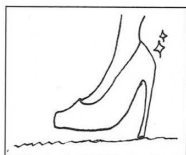
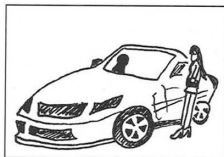


敷島住宅株式会社

「偽り」篇



SE:カッカッカッ
(ヒールの音)



ブランド品で身を包んだ女が
高級車へ乗り込む

SE:パタンッ!
(ドアを閉める音)

男:今日は家まで送らせてね。

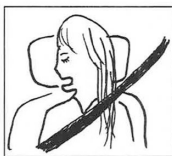
女:いや、いつものところでいいよ。



男:遠慮なくていいんだよ。

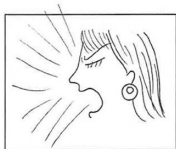
女:本当に大丈夫。ここでいいよ。

男:でも、もう遅いさ。



女:本当にいいから

男:でも…。



女:いいからっ!!!



NA:素敵な家に住もう。
敷島住宅